

危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第8回 信号機のある交差点を渡る (自転車)

活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736

今回のKYTの題材は、Hondaの高齢ドライバー用プログラム「いつまでも元気に暮らすために危険予測トレーニング30」から抜粋しています。詳細については下記ホームページ参照。



<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/senior-training/>

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は高齢者の方に、自転車運転中の危険を考えてもらうためのKYTです。自転車利用者を対象にしたグループ教育の学習の中で活用してください。



自転車で、青信号の自転車横断帯を渡ろうとしています

- ・ 歩行者・自転車用信号が青なので、あなたは自転車横断帯を渡って交差点を渡るつもりです。
- ・ 右前方の交差点の中には、クルマが止まっていて、まだ動き出していません。
- ・ 携帯電話で話している歩行者は、こちらに向かってきます。

●●●▶ Q: あなたはどこに注意しますか?

イラストの中のその個所に丸印を書き込んでください。

制限時間  
1分

©本田技研工業(株)

SJクイズ



Q1 平成19年中、自転車乗用中の負傷者数が最も多い年代はどれ?



- ① 7～12歳 ② 16～19歳 ③ 20～24歳 ④ 75歳以上

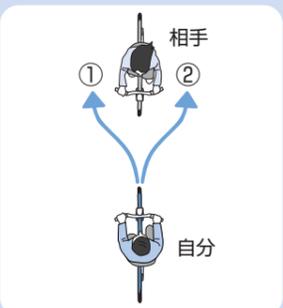
Q2 平成20年中、事故にあった自転車利用者(第1・2当事者※)の違反で最も多いのはどれ?

- ① 信号無視 ② 前方不注意  
③ 一時不停止 ④ 安全不確認

※第1当事者＝交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者又は過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者。  
第2当事者＝過失がより軽い、過失が同程度の場合は、被害がより大きい方の当事者。

Q3 歩道上で他の自転車と行き違う時は、対向する自転車を左右のどちらに見ながら避ければいいでしょう?

- ① 右 ② 左



※「解答」は7面下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

The 教材

このコーナーでは、全国各地の自治体や警察、企業・団体などが制作した交通安全教育教材をご紹介します。



推奨動作環境	
Windows	
OS	Windows98/Me/2000/XP (日本語版)
CPU	Intel Pentium III 650 MHz以上
メモリ	実装 256MB以上
CD-ROM	24倍速以上
Macintosh	
OS	MacOS 9以上 / MacOS X
CPU	PowerPC G4 以上
メモリ	実装 256MB以上
CD-ROM	24倍速以上

この「知っておこう自転車のルール」はフリーソフトウェアです。転載・配付は自由です。ただし、著作権は香川県警察本部交通部が有しております。

File.1 動画教材 知っておこう自転車のルール

企画・制作：香川県警察本部交通部 発行：2008年5月

●教材作成の目的

本教材は、香川県交通安全教育推進会議※(以下、推進会議)の平成19年度推進テーマ「自転車利用者の安全教育」に基づき作成された。推進会議では、各年度の推進テーマに応じた独自の教材を作成している。

※香川県交通安全教育推進会議＝香川県警察をはじめ香川県内で交通安全教育に関係する機関・団体、学識経験者等で構成される

●教材の特徴

「知っておこう自転車のルール」は、自転車を利用する方を対象に、自転車の正しいルールなどを紹介する動画教材(CD-ROM)。「自転車安全利用五則」に沿った自転車の正しいルール等を紹介している。自転車運転に関する基礎的

知識のほか、自転車の交通ルールに関する○×問題、自転車の迷惑行為による交通事故事例、および交通事故を起こした場合の措置、責任などが紹介されている。また、この教材には、安全に自転車に乗るために役立つ足腰を鍛える運動や、体の柔軟性を高める体操なども含まれており、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の方に学習していただけるようなプログラムになっている。

詳しくは下記ホームページ参照  
<http://www.pref.kagawa.jp/police/suishinkaigi/kyouiku/shiryoku/index.htm>